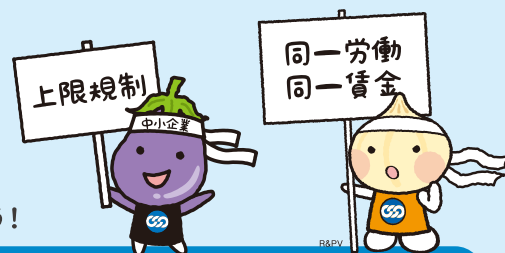




働き方改革関連法を 職場に定着させよう!!

同じ職場で働く仲間の処遇改善に向けて、法の内容をしっかりと理解しよう!



同一労働同一賃金の法整備に関する内容 ~2020年4月1日からスタート!!~

- ① 「正社員」「パートタイム」「有期雇用」「派遣」など、雇用形態の違いによる不合理な待遇差が禁止されました
- ② どのような待遇差が不合理であるのか基本的な考え方を示した「同一労働同一賃金ガイドライン」が策定されました
- ③ 事業主が労働者に待遇を説明する義務が強化されました
- ④ 行政による助言・指導や、行政ADR(行政での無料の解決手続き)が整備されました

同一労働同一賃金の
詳しい情報は [こちら](#) ▶



サブロク 36協定締結チェックリスト

限度時間(月45時間、年360時間)以内で締結していますか

以下の事項について労使で協議し、定めていますか

- 1) 時間外・休日労働が必要な具体的事由 2) 時間外・休日労働を行う業務区分の細分化(業務範囲の明確化)

休日労働を協定する際、その日数・時間数を出来る限り少なくするよう使用者に求めていますか

「やむをえず」特別条項付き36協定(限度時間超え)を締結する場合

時間外労働について、①年720時間以内、②休日労働含み単月100時間未満、

③休日労働含み複数月平均80時間以内、④時間外労働が月45時間を上回るのは年6回以内、に収まるよう確認していますか

時間外労働が、休日労働を含み年720時間以内となるよう取り組んでいますか

以下の事項について労使で協議し、定めていますか

- 1) 臨時的な特別の事由とその具体的内容 2) 特別条項を適用する場合の手続き等(事前協議等のルール)

限度時間を超える場合の割増賃金率が法定を超える率となるよう取り組んでいますか

※月60時間超の時間外労働に係る割増賃金率(50%)の中小企業への適用は2023年4月より開始

限度時間超えで働く労働者に対し、健康・福祉確保措置(医師の面接指導や深夜業の制限など)を1つ以上選び、定めていますか

選択した健康・福祉確保措置の具体的内容を労使で協議し、定めるよう取り組んでいますか

これらを上
回る取り組
みでしょう



具体的に定める
必要があるんだよ



“一時的”
“突発的”な
もののみ!

□ : 法定基準 / □ : 法を上回る等の取り組み

みんなで実践

咳

エチケット

Point!

咳やくしゃみの飛沫により感染する感染症は数多くあります。特に電車や職場、学校など人が集まるところで実践することが重要とされています。

3つの正しい咳エチケット

①



マスクで口と鼻を覆う

②



ハンカチ、ティッシュで
口と鼻を覆う

③



服の袖で口と鼻を覆う

連合千葉 県内キャラバン街宣と駅頭街宣行動を実施

連合千葉は、2020 春季生活闘争の取り組み方針に基づき、世論喚起に向けた取り組みとして、1月27日から2月12日にかけて全地域協議会において、街宣車による地域街宣行動とあわせて、主要駅における駅頭街宣行動を展開し、2020 春闘の意義や政策制度の改善に向けた連合の考え方や取り組みを広く県民に対し訴えました。

また、連合「なんでも労働相談ホットライン」へは、年間を通じて解雇や退職強要、契約打ちなど、雇用関係に関する相談が数多く寄せられています。特に労働契約の更新時期を迎える年度末は相談件数も増加傾向にあります。

働くことで困ったらフリーダイヤル「0120-154-052」まで、ご連絡ください。



小谷会長（柏駅にて）

地協名	駅名	実施日時
中央	JR千葉駅	2月12日（水）18:00～
総武	JR津田沼駅	2月4日（火）18:00～
東葛	JR柏駅	2月6日（木）18:30～
成田・佐倉	JR成田駅	2月12日（水）18:00～
東総・香取	JR銚子駅	1月27日（月）17:30～
外房	JR茂原駅	2月7日（金）18:00～
南総	JR君津駅	2月4日（火）18:00～



柏駅で街宣行動

永富事務局長（君津駅にて） 高柳副事務局長（茂原駅にて）

『教育フォーラムちば 2020』を開催

実行委員長 深澤 宏彰（千教組）



オープニングの様子



講演に立つ「澤田 稔」教授

2020年2月16日（日）「教育フォーラムちば2020」が千葉県教育会館において開催され、約500人の参加がありました。今年度のテーマは「これからの学校の在り方について考える」でした。

現在の学校に目を向けると、不登校児童生徒の増加、暴力行為の増加、いじめの認知件数の増加等々、複雑化・困難化した課題が数多く浮かび上がります。

多くの人は、自分が受けてきた教育を基軸として、それを当たり前と考えてしまいがちですが、この多様性のあふれる中だからこそ、様々な視点から学校を考えることが必要だと思います。

基調提案では、「子どもの頃と比べて、現在の学校は変わったと感じるか？」「これからの学校は変わっていかなくてはいけないと感じているか？」などを参加者に問いました。参加者は「赤白パネル」を使用して意思表示をします。（Yes＝赤、No＝白を挙げる）多くの方が「現在の学校は変わった」「これからの学校は変わっていかなくてはならない」と考えていました。

講演では、上智大学教授の澤田稔さんから同テーマで「～子どもたちの well-being のために～」の講演をいただきました。「well-being」とは「幸福や満足、望ましい状態」とのことです。これを実現するための一つの要素「インクルージョン（包摂性）」について、実践事例を交えながら講演は具体的でありとても分かりやすいものでした。

これからの学校について考える「きっかけの場」となったのであれば実行委員会としても幸いです。



「学校は変わった？」参加者の意識は…

「第43回千葉県経営者協会・連合千葉」定期懇談会を実施

2月17日（月）15:00より、千葉市内において千葉県経営者協会と定期懇談会を開催しました。この懇談会は、県内企業の経営者（代表取締役や会長・CEOなど）と労働組合が直接意見を交わす場として設けられています。

連合千葉からは「2020年春季生活闘争の取り組み（ポイント）」を、千葉県経営者協会からは「2019年度労働法制関連の情報提供」「2020年版経営労働政策特別委員会報告」について、各々報告がありました。

続いての意見交換では連合千葉より、(1)改正法の周知について、(2)過半数代表の選出方法等について、(3)ハラスメント対策について、(4)自然災害対策について、(5)人手不足対策について、の5点に関して問いました。特に人手不足に関しては、協会としても「経営の根幹を揺るがす深刻な問題」との認識のもと「県内の学生が県内の企業に就職してもらえるように、インターンシップ事業や企業説明会などを継続的にを行い、県内企業の魅力の発信に努めているところ。また、社労士によるセミナーや人材の定着に向けた講演会を開催。千葉県に対しても人材確保に向けた支援を要望している」とのことでした。



挨拶をする小谷会長



人手不足や定着率向上に関して問う平野副会長



懇談会の様子

編集後記

新型コロナウイルスの拡散が危惧されています。連合千葉も当面の間、集会や学習会・街宣行動等の中止や延期を決めました。本来なら本号は「春闘総決起集会」や「国際女性デー街宣行動」の報告を記載する予定でしたが、それも叶いませんでした。皆さんの健康と一日も早い終息を祈るばかりです。